

『症例から学ぶ 戦略的急性期脳卒中診断・治療』正誤表

いつも小社出版物をご利用いただき誠にありがとうございます。

当該書籍に以下の誤りがございました。深くお詫びするとともにここに訂正いたします。

■119 ページ 「3.TIA と鑑別を要する疾患：TIA mimics」 上から 12 行目

【誤】

起立性低血圧，頸動脈洞刺激によるものが多いが，最も重要なじて TIA となり，虚血病巣に応じた局所徴候を呈する。

【正】

起立性低血圧，頸動脈洞刺激によるものが多いが，最も重要なのは不整脈による失神である。動脈狭窄症に加えて血圧低下をきたす場合は脳の部分的な虚血を生じて TIA となり，虚血病巣に応じた局所徴候を呈する。

■120 ページ 「5.TIA は入院させるべきか」 上から 2 行目

【誤】

後日予約制の専門施設を受診させた場合と，最初から専門病院なのは不整脈による失神である。動脈狭窄症に加えて血液定価をきたす場合は脳の部分的な虚血を生入院させて診療した場合とで，予後を比較した試験が EXPRESS 試験である⁹⁾。

【正】

後日予約制の専門施設を受診させた場合と，最初から専門病院に入院させて診療した場合とで，予後を比較した試験が EXPRESS 試験である⁹⁾。

■187 ページ 右段 上から 4 行目

【誤】 Case4 (p.189) を参照。

【正】 Case4 (p.204) を参照。

■203 ページ 右段 *4 下から 3 行目

【誤】 ニトログリセリン（ミオコール®点滴静注,

【正】 3. ニトログリセリン（ミオコール®点滴静注,

■203, 204 ページ 「治療」の параグラフ内

【追記】

*6 は p.206 の 6.抗凝固薬中和の実際を参照.

*7 は p.207 の 7.救急の現場では常に最悪に備えよを参照.

*8 は p.207 の最後の параグラフ「抗血栓療法中の～」を参照.

■209 ページ 下から 11 行目

【誤】 レボキロチシン

【正】 レボチロキシシン

■226 ページ 上から 9 行目

【誤】 ウイルス動脈輪閉塞症

【正】 ウイリス動脈輪閉塞症

2021年1月現在